

---

# 平成14年9月期決算説明資料 (グループ行 合算)

平成14年12月5日



# 【目次】

---

P1	りそなホールディングス／単体BS・PL
P2	損益の状況(HD連結)
P3	損益の状況(傘下銀行 単体合算①)
P4	預貸金利回差の推移(個別行の状況)
P5	損益の状況(傘下銀行 単体合算②)
P6	信託報酬の状況(グループ合算)
P7	有価証券の状況
P8	自己資本比率(国内基準)の状況
P9	金融再生法基準の開示債権および保全率の状況
P10	要注意債権の保全状況
P11～13	自己査定に基づく償却・引当及び保全率の状況(大和銀行、あさひ銀行、近畿大阪銀行)
P14～15	債務者区分毎の金額階層別の状況(大和銀行、あさひ銀行)
P16	大口要管理先の保全状況(大和銀行、あさひ銀行)
P17～19	債務者区分間の移動(大和銀行、あさひ銀行、近畿大阪銀行)
P20	オフバランス化の状況(傘下銀行合算)
P21	消費者ローン・中小企業等貸出
P22	業績見込み①(当社 連・単)
P23	業績見込み②(傘下銀行単体)
P24	不良債権のオフバランス化計画(14年下期)
P25	(ご参考資料) 部門別収益及び経費率(傘下銀行合算)
P26	(ご参考資料) 自己査定の状況(傘下銀行合算)
P27	主な連結子会社・関連会社の状況

本資料において、「〇行合算」という場合には、当該銀行の単体決算を単純合計しています。

---

# りそなホールディングス / 単体 B S ・ P L

## 【損益計算書】

損益計算書(平成14年4月1日から平成14年9月30日まで)

(単位:億円)

科目	14年上期
営業収益	66
関係会社受入手数料	35
営業費用	54
営業利益	11
営業外収益	0
営業外費用	1
経常利益	10
特別利益	-
関係会社株式売却益	-
税引前当期(中間)純利益	10
法人税、住民税及び事業税	0
法人税等調整額	2
当期(中間)純利益	8
当期(中間)未処分利益	104

(御参考)

13年度
21
20
17
4
0
1
3
289
289
292
103
△ 9
199
199

(13年度は平成13年12月12日から14年3月31日まで)

## 【貸借対照表】

(平成14年9月30日現在)

(単位:億円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	57	流動負債	309
固定資産	18,265	固定負債	3,000
有形固定資産	0	(うち長期借入金)	(3,000)
無形固定資産	1	負債合計	3,309
投資その他の資産	18,264	(資本の部)	
(関係会社株式)	(15,257)	資本金	7,200
(関係会社長期貸付金)	(3,000)	資本剰余金	7,714
(その他)	(7)	(資本準備金)	(7,314)
繰延資産	3	(その他資本剰余金)	(400)
		利益剰余金	104
		(中間未処分利益)	(104)
		自己株式	△ 0
		資本合計	15,017
資産合計	18,327	負債資本合計	18,327

# 損益の状況（HD連結）

連結損益計算書（平成14年4月1日から平成14年9月30日まで）  
（単位：億円）

科目	14年上期	13年度
経常収益	6,392	13,613
経常費用(△)	6,169	25,214
(うち株式関係損益)	(△100)	(△4,669)
(うち不良債権処理額)	(1,120)	(9,013)
経常損益	223	△11,601
特別利益	39	120
特別損失(△)	109	257
税金等調整前当期純損益	153	△11,737
法人税、住民税及び事業税(△)	54	149
法人税等調整額(△)	△42	△2,564
少数株主利益(△)	5	△4
当期(中間)純損益	135	△9,318

## 【14年9月期決算ハイライト】

傘下の近畿大阪銀行において、将来のグループ内再編に備え、貸倒リスクを抜本的に排除するため、大幅な不良債権処理を実施

### 【単体】

- ・営業収益は66億円、経常利益10億円、中間利益8億円

### 【連結】

- ・傘下の近畿大阪銀行において大幅な不良債権処理を実施したことを主因として期初見込みの経常利益400億円、中間純利益200億円に比して減益

# 損益の状況（傘下銀行単体合算）

5行合算は傘下5銀行の単体決算の単純合計

(単位:億円)

	5行合算		大和		近畿大阪		奈良		あさひ		りそな信託	
		13/9比		13/9比		13/9比		13/9比		13/9比		13/9比
業務粗利益	3,910	△ 158	1,282	△ 47	465	28	20	△ 2	2,030	△ 248	108	-
国内業務粗利益	3,777	△ 63	1,206	△ 46	439	27	20	△ 2	1,999	△ 153	108	-
資金利益	2,949	△ 259	847	△ 34	393	0	17	△ 0	1,690	△ 225	△ 0	-
信託報酬	158	△ 24	39	△ 143	-	-	-	-	-	-	115	-
役務取引等利益	288	△ 31	139	6	22	3	1	0	132	△ 35	△ 6	-
国際業務粗利益	132	△ 94	75	△ 0	25	1	-	-	31	△ 95	-	-
経費	2,258	△ 180	728	△ 79	322	△ 28	16	0	1,138	△ 125	48	-
人件費	857	△ 136	242	△ 47	153	△ 10	9	0	428	△ 102	20	-
物件費	1,287	△ 40	454	△ 32	152	△ 18	6	0	644	△ 20	27	-
一般貸引純繰入額	493	312	113	19	258	254	-	△ 1	122	79	-	-
業務純益	1,158	△ 289	440	51	△ 115	△ 197	3	△ 2	770	△ 201	59	-
(コア業務純益)	(1,398)	(△ 123)	(391)	(△ 90)	(119)	(34)	(2)	(△ 1)	(825)	(△ 126)	(59)	-
(実勢業務純益)	(1,669)	(27)	(570)	(37)	(142)	(57)	(3)	(△ 3)	(892)	(△ 122)	(59)	-

コア業務純益:債券五勘定収益、信託勘定不良債権処理、一般貸倒引当金繰入を除いた業務純益

実勢業務純益:信託勘定不良債権処理、一般貸倒引当金繰入を除いた業務純益

りそな信託銀行は14年3月1日営業開始

大和銀行の13年9月比は信託分社前計数との比較、5行合算の13年9月比は13年9月末の大和、近畿大阪、奈良、あさひの4行合算との比較

## 【業務粗利益】

大和、あさひは資金粗利鞘は拡大するも、貸出金や有価証券残高の減少により、資金利益が減少

## 【信託報酬】

りそな信託を分社したことにより、大和銀行の信託報酬は減少

## 【経費】

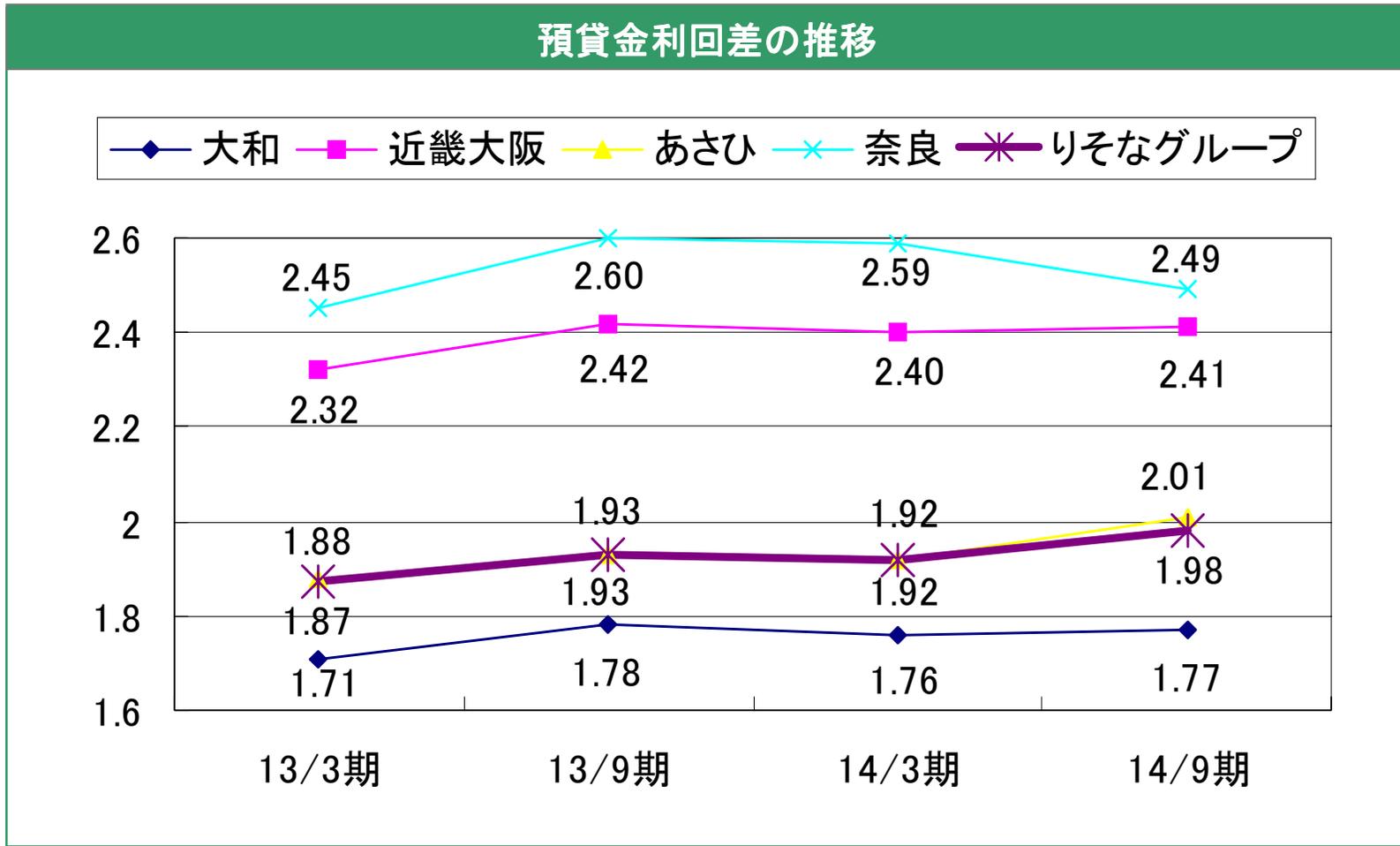
各行とも、引き続き経営の効率化に努め、人件費および物件費は減少

## 【一般貸倒繰入額】

大和、あさひとも要注意先、要管理先の残高は減少するも、予想損失率の上昇により繰入。

近畿大阪は要管理先の幅広い選定、予想損失率の保守的な見積もりにより、引当強化

# 預貸金利回差の推移（個別行の状況）



※大和銀行は銀行勘定のみ

# 損益の状況（傘下銀行単体合算）

（単位：億円）

	5行合算		大和		近畿大阪		奈良		あさひ		りそな信託	
		13/9比		13/9比		13/9比		13/9比		13/9比		13/9比
業務純益	1,158	△ 289	440	51	△ 115	△ 197	3	△ 2	770	△ 201	59	-
（コア業務純益）	(1,398)	(△ 123)	(391)	(△ 90)	(119)	(34)	(2)	(△ 1)	(825)	(△ 126)	(59)	-
（実勢業務純益）	(1,669)	(27)	(570)	(37)	(142)	(57)	(3)	(△ 3)	(892)	(△ 122)	(59)	-
株式関係損益	△ 97	3,981	△ 90	2,978	△ 22	△ 27	△ 2	△ 0	17	1,030	-	-
不良債権処理額	986	△ 434	304	△ 470	360	268	-	△ 1	321	△ 232	-	-
経常利益	136	4,253	46	3,644	△ 292	△ 314	0	△ 1	323	868	57	-
特別損益	△ 51	△ 63	18	△ 3	6	△ 8	1	1	△ 78	△ 52	△ 0	-
税引前中間利益	84	4,189	64	3,640	△ 285	△ 323	2	△ 0	245	815	57	-
法人税等調整額等(△)	△ 18	1,610	△ 17	1,352	0	△ 14	0	0	0	274	△ 2	-
中間損益	68	2,549	74	2,281	△ 285	△ 309	1	△ 0	243	541	35	-

コア業務純益：債券五勘定収益、信託勘定不良債権処理、一般貸倒引当金繰入を除いた業務純益

実勢業務純益：信託勘定不良債権処理、一般貸倒引当金繰入を除いた業務純益

りそな信託銀行は14年3月1日営業開始

大和銀行の13年9月比は信託分社前計数との比較、5行合算の13年9月比は13年9月末の大和、近畿大阪、奈良、あさひの4行合算との比較

## 【業務純益】

一般貸倒引当金が493億円の繰入になったことから業務純益は1,158億円

一般貸倒引当金繰入等を除いた実勢業務純益は1,669億円

## 【株式関係損益】

前期末に厳格な減損処理を実施したため、株式相場が一段と下落した中でも、今期の減損処理額はグループで128億円にとどまる。

## 【不良債権処理額】

大和、あさひとも前期に保守的な不良債権処理を行ったことから、上期はほぼ期初予定どおり、業務純益の範囲内に収まる。

近畿大阪銀行では、抜本的な不良債権処理をおこなったことより、268億円増加の360億円となった。

# 信託報酬の状況（グループ合算）

（単位：百万円）

	平成14年9月	平成13年9月	増減
信託報酬	15,855	18,315	△ 2,460
うち財管部門 ①	11,539	14,659	△ 3,120
うち預貸部門（合同勘定）	3,828	3,417	411
（うち資金利益）	5,786	8,311	△ 2,525
（うち証券五勘定）	0	△ 3,023	3,023
（うち不良債権処理）	1,710	1,201	509
年金信託手数料 ②	1,908	2,302	△ 394
実質的財管部門報酬 ①+②	13,447	16,961	△ 3,514

大和銀行とりそな信託銀行の合算計数  
年金信託手数料は厚生年金にかかる業務委託手数料

- ・営業面では、邦銀トップクラスの格付を取得したこと、クレディ・アグリコル・グループと提携したこと、りそなグループのシナジー効果の発揮により、着実な成果が上がっている。
- ・一方、内外の株式運用市況の悪化により、時価ベースの受託財産額が減少していることから収益は減少。

# 有価証券の状況

【株式関係損益の状況】

(単位:億円)

	5行合算	大和	近畿大阪	奈良	あさひ	りそな信託
株式関係損益	△ 97	△ 90	△ 22	△ 2	17	-
売却益	185	29	5	0	150	-
売却損	84	27	0	0	57	-
償却	128	22	28	1	76	-
投資損失引当金繰入	70	70	-	-	-	-

【有価証券含み損益の状況】

(単位:億円)

	5行合算	大和	近畿大阪	奈良	あさひ	りそな信託
満期保有目的	0	-	-	0	-	-
子会社・関連会社	△ 88	△ 88	-	-	-	-
その他有価証券	△ 3,414	△ 1,778	△ 48	3	△ 1,590	△ 0
債券	254	98	49	4	102	△ 0
株式	△ 3,556	△ 1,874	△ 22	△ 0	△ 1,658	-
その他	△ 111	△ 2	△ 74	0	△ 34	-

株式売切簿価

(単位:億円)

	5行合算	大和	近畿大阪	奈良	あさひ	りそな信託
株式売切簿価	1,450	450	82	0	918	-
(うち退職給付信託)	(179)	(-)	(-)	(-)	(179)	(-)

【株式保有規制】

(単位:億円)

	大和	近畿大阪	あさひ
対象残高	8,169	587	6,589
Tier I	3,607	966	5,985
超過額	4,562	△ 379	604
下期売却額	1,550		582

## 【減損処理】

- ・14年上期の5行合算の減損処理は128億円にとどまる

## 【14年上期の減損ルール】

- ・50%以上下落～一律減損
- ・30%以上下落～回復の可能性を検討するが、要注意先以下は一律減損

## 【株式売却】

- ・退職給付信託の設定額179億円を含めて1,450億円

## 【含み損】

- ・その他有価証券の含み損は▲3,414億円と、前期▲791億円に比し、大幅拡大
- ・15年3月の大和、あさひの分割・合併時に、合併差益にて処理し、さらに財務の健全化を進める予定

# 自己資本比率（国内基準）の状況

【連結自己資本比率（国内基準：速報）】

（単位：億円、％）

	HD連結	大和	近畿大阪	奈良	あさひ	りそな信託
自己資本比率	7.92%	7.52%	7.24%	8.23%	7.79%	183.03%
（Tier I 比率）	(3.98%)	(3.80%)	(3.93%)	(6.90%)	(3.91%)	(183.03%)
自己資本額	21,614	7,135	1,779	85	11,920	284
Tier I	10,872	3,607	966	71	5,985	284
（うち優先出資証券）	(1,385)	(679)	(-)	(-)	(706)	(-)
（うち有証評価差損）	△3,381	(△1,796)	(△48)	(-)	(△1,582)	(△0)
Tier II	10,872	3,607	813	13	5,985	-
控除項目(△)	129	80	0	-	49	-
リスクアセット	272,820	94,880	24,553	1,033	152,924	155

## 【資本増強】

- ・本中間期に当社の海外子会社による優先出資証券を679億円発行し、資本増強を実施

## 【第二基準（国内基準）】

- ・当社および傘下銀行は国内基準行であり、規制上必要とされる自己資本比率（4％）は確保
- ・連結自己資本比率は前期末比▲0.81％低下の7.92％
- ・Tier I 比率は前期比▲0.40％低下の3.98％

【単体自己資本比率（国内基準：速報）】

（単位：億円、％）

	大和	近畿大阪	奈良	あさひ	りそな信託
自己資本比率	7.58%	7.00%	8.23%	8.00%	183.03%
（Tier I 比率）	(3.92%)	(3.68%)	(6.90%)	(4.01%)	(183.03%)
自己資本額	7,038	1,715	85	11,918	284
Tier I	3,644	902	71	5,974	284
（うち優先出資証券）	(679)	(-)	(-)	(706)	(-)
（うち有証評価差損）	(△1,778)	(△48)	(-)	(△1,590)	(△0)
Tier II	3,644	813	13	5,974	-
控除項目	250	0	-	30	-
リスクアセット	92,767	24,502	1,033	148,942	155

# 金融再生法基準の開示債権および保全率の状況

【平成14年9月末】

(単位:億円)

	4行合算	大和	近畿大阪	奈良	あさひ
与信残高	307,526	101,639	31,059	1,349	173,478
破産更生債権等	4,325	1,937	820	77	1,489
危険債権	12,575	6,094	1,310	33	5,137
要管理債権	14,583	5,361	2,383	40	6,798
計	31,484	13,394	4,514	150	13,425
(与信残高比率)	(10.23%)	(13.17%)	(14.53%)	(11.15%)	(7.73%)

【平成14年3月末比増減】

(単位:億円)

	4行合算	大和	近畿大阪	奈良	あさひ
破産更生債権等	△99	△112	15	△0	△2
危険債権	△3,407	△813	279	△1	△2,871
要管理債権	1,429	△602	468	0	1,562
計	△2,076	△1,527	763	△0	△1,311
(与信残高比率)	(△0.05%)	(△0.69%)	(3.03%)	(△0.42%)	(△0.23%)

債務者区分毎の保全率

【平成14年9月末 4行合算】

(単位:%)

	4行合算	大和	近畿大阪	奈良	あさひ
破産更生債権等	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
担保保証等	88.71%	83.71%	95.94%	36.46%	93.94%
引当金	11.28%	16.28%	4.05%	63.53%	6.05%
(非保全部分の引当率)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
危険債権	82.33%	85.28%	85.34%	94.31%	78.02%
担保保証等	49.82%	58.44%	56.92%	80.62%	37.61%
引当金	32.50%	26.84%	28.42%	13.68%	40.41%
(非保全部分の引当率)	64.78%	64.59%	65.98%	70.62%	64.78%

## ①開示債権

### 【グループ合算】

銀行・信託勘定合算で3兆1,484億円となり、前期末比▲2,076億円の減少

### 【大和・あさひ】

オフバランス化による最終処理に積極的に取り組み、両行合算で、前期末比▲2,838億円の減少

### 【近畿大阪】

将来のグループ内再編の備え、貸倒れリスクを抜本的に排除するために、保守的な自己査定を実施したことにより前期末比763億円の増加

## ②保全率

4行合算ベースの危険債権の保全率は82.33%

# 要注意先債権の保全状況

## 【大和銀行】

	14年9月期			
	債権額:A	引当金:B	担保保証:C	引当率(注)
要注意先債権	23,698	1,385	-	5.84%
その他要注意先	14,556	312	-	2.14%
要管理先債権	9,141	1,073	3,284	18.33%
(うち要管理債権)	(5,361)	(1,073)	(1,928)	(31.27%)

## 【あさひ銀行】

	14年9月期			
	債権額:A	引当金:B	担保保証:C	引当率(注)
要注意先債権	30,712	1,709	-	5.56%
その他要注意先	19,979	466	-	2.33%
要管理先債権	10,732	1,243	3,795	17.92%
(うち要管理債権)	(6,798)	(1,243)	(2,404)	(28.29%)

## 【近畿大阪銀行】

	14年9月期			
	債権額:A	引当金:B	担保保証:C	引当率(注)
要注意先債権	7,133	413	-	5.79%
その他要注意先	3,533	13	-	0.39%
要管理先債権	3,599	399	2,511	36.74%
(うち要管理債権)	(2,383)	(399)	(1,294)	(36.72%)

(注)「要注意先全体」「その他要注意先」:「B/A」,「要管理先」:「B/(A-C)」

(単位:億円、%)

14年3月期	13年9月期
引当率(注)	引当率(注)
5.09%	2.60%
1.74%	1.08%
17.83%	9.40%
(29.70%)	(14.08%)

## ①要注意先の保全率

### 【大和・あさひ】

前期に要管理先を中心として大幅な引当強化を実施した

### 【近畿大阪】

現下の厳しい経済情勢を踏まえ、今期、要管理先の予想損失率を保守的に算出し大幅な引当強化

(単位:億円、%)

14年3月期	13年9月期
引当率(注)	引当率(注)
4.90%	3.07%
1.87%	1.78%
19.43%	12.87%
(32.24%)	(18.37%)

(単位:億円、%)

14年3月期	13年9月期
引当率(注)	引当率(注)
1.65%	1.98%
0.26%	0.26%
14.03%	17.81%
(14.03%)	(17.81%)

# 自己査定に基づく償却・引当及び保全率の状況（大和銀行）

(単位: 億円)

自己査定				
分類債権	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
債務者区分				
破綻先／ 実質破綻先 (合計 1,937)	銀) 615 信) 3 計) 618	銀) 1,262 信) 57 計) 1,319	引当率 100%	直接償却
破綻懸念先 (合計 6,094)	銀) 2,441 信) 7 計) 2,448	銀) 2,684 信) 64 計) 2,748	896	銀) 889 信) 7 計) 896
破綻懸念先 (除く関連会社) (合計 3,709)	銀) 1,753 信) 3 計) 1,757	銀) 1,367 信) 58 計) 1,425	引当率 64.10%	(除く関連会社) 銀) 599 信) 8 計) 608
要 注 意 先	要管理先 (合計 9,141)	銀) 685 信) 14 計) 700	銀) 8,066 信) 374 計) 8,441	
	その他の 要注意先 (合計 14,556)	銀) 4,041 信) 15 計) 4,057	銀) 10,266 信) 232 計) 10,499	
	正常先 (69,908)	銀) 67,078 信) 2,829 計) 69,908		
	合計 101,639	非分類 77,733	Ⅱ分類 23,009	Ⅲ分類 896
			Ⅳ分類 -	

※関連会社には緊密者を含む

保全状況	金融再生法に基づく保全率
引当金 ( 315 ) 担保／保証 (1,622)	破産更生債権 及びこれらに 準じる債権 100%
引当金 ( 1,636 ) 担保／保証 (3,561)	危険債権 85.28%
引当金 ( 1,073 ) 担保／保証 (1,928)	要管理債権 55.99%

金融再生法基準  
開示債権 13,394億円  
に対する保全率  
75.68%

要管理債権  
銀) 5,201  
信) 160  
計) 5,361

引当金合計  
3,025  
担保／保証合計  
7,112

(注1) 不動産担保評価は、破綻懸念先以下は6ヶ月以内の評価です。

(注2) 不動産担保の処分可能見込額は原則、下記のとおりです。

- ・ 不動産鑑定士による鑑定価格：鑑定価格の100%
- ・ 裁判所による最低売却価格：最低売却価格の100%
- ・ 大和銀総合管理の調査物件：調査価格の70%
- ・ 路線価によるもの：路線価の70%

# 自己査定に基づく償却・引当及び保全率の状況（あさひ銀行）

（単位：億円）

自己査定				
分類債権	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
債務者区分				
破綻先／ 実質破綻先 (1,489)	239	1,250	引当率 100%	直接償却
破綻懸念先 (5,137)	2,466	1,541	1,128 引当率 64.7%	
要 注 意 先	要管理先 (10,732)	1,152	9,580	
	その他の 要注意先 (19,979)	3,140	16,838	
正常先 (136,139)	136,139			
合計 (173,478)	非分類 143,138	Ⅱ分類 29,211	Ⅲ分類 1,128	Ⅳ分類 -

保全状況	金融再生法に 基づく保全率
引当金 ( 90 ) 担保／保証 (1,399)	破産更生債権 及びこれらに 準じる債権 100%
引当金 ( 2,076 ) 担保／保証 ( 1,932 )	危険債権 78.0%
引当金 ( 1,243 ) 担保／保証 ( 2,404 )	要管理債権 53.7%

金融再生法基準  
開示債権 13,425 億円  
に対する保全率  
68.1%

要管理債権  
計) 6,798

引当金合計  
3,409  
担保／保証合計  
5,736

# 自己査定に基づく償却・引当及び保全率の状況（近畿大阪）

(単位:億円)

自己査定				
分類債権	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
債務者区分				
破綻先／ 実質破綻先 (820)	211	608	引当率 100%	直接償却
破綻懸念先 (1,310)	598	520	191 引当率 65.9%	
要 注 意 先	要管理先 (3,599)	305	3,294	
	その他の 要注意先 (3,533)	1,558	1,974	
正常先 (21,794)	21,794			
合計 (31,059)	非分類 24,468	Ⅱ分類 6,398	Ⅲ分類 191	Ⅳ分類 -

保全状況	金融再生法に 基づく保全率
引当金 ( 33 ) 担保／保証 ( 787 )	破産更生債権 及びこれらに 準じる債権 100%
引当金 ( 372 ) 担保／保証 ( 745 )	危険債権 85.3%
引当金 ( 399 ) 担保／保証 ( 1,294 )	要管理債権 71.0%

金融再生法基準  
開示債権 4,514億円  
に対する保全率  
80.4%

要管理債権  
計) 2,383

引当金合計  
805  
担保／保証合計  
2,827

# 債務者区分毎の金額階層別の状況（大和銀行）

＜銀行・信託合算＞

（注）関連会社には緊密者を含む

（単位：億円）

	その他要注意先			要管理先			危険債権			破産更生債権等		
	件数	金額	14/3末比	件数	金額	14/3末比	件数	金額	14/3末比	件数	金額	14/3末比
総計	—	14,556	▲ 990	—	9,141	▲ 833	—	6,094	▲ 813	—	1,937	▲ 112
500億円以上	2	1,122	▲ 572	5	3,914	▲ 614	3	2,145	483	—	—	—
うち関連会社等	—	—	▲ 563	3	2,596	233	2	1,256	482	—	—	—
うち一般先	2	1,122	▲ 9	2	1,317	▲ 848	1	889	1	—	—	—
(1社平均)	—	561	▲ 5	—	658	▲ 64	—	889	1	—	—	—
300～500未満	4	1,723	444	1	352	▲ 111	1	448	▲ 502	1	357	▲ 19
うち関連会社等	1	498	498	—	—	—	1	448	▲ 502	1	357	▲ 19
うち一般先	3	1,225	▲ 54	1	352	▲ 111	—	—	—	—	—	—
(1社平均)	—	408	▲ 18	—	352	▲ 111	—	—	—	—	—	—
100～300未満	13	2,306	▲ 269	3	526	360	7	1,018	▲ 472	1	146	146
うち関連会社等	—	—	—	—	—	—	3	538	▲ 160	1	146	146
うち一般先	13	2,306	▲ 269	3	526	360	4	480	▲ 312	—	—	—
(1社平均)	—	177	5	—	175	9	—	120	▲ 12	—	—	—
50～100未満	16	1,086	▲ 99	9	621	▲ 98	3	204	▲ 175	1	50	▲ 223
うち関連会社等	1	55	▲ 9	—	—	—	—	—	—	—	—	▲ 273
うち一般先	15	1,031	▲ 90	9	621	▲ 98	3	204	▲ 175	1	50	50
(1社平均)	—	68	2	—	69	▲ 3	—	68	▲ 8	—	50	50
50億円以上計（構成比）	42.9%	6,238	▲ 495	59.2%	5,414	▲ 462	62.6%	3,816	▲ 664	28.6%	554	▲ 95
うち関連会社等	3.7%	553	▲ 74	28.4%	2,596	233	36.8%	2,243	▲ 179	26.0%	503	▲ 146
50億円未満	57.1%	8,317	▲ 496	40.8%	3,726	▲ 372	37.4%	2,277	▲ 150	71.4%	1,383	▲ 18

※平成14年9月末

# 債務者区分毎の金額階層別の状況（あさひ銀行）

（単位：億円）

	その他要注意先			要管理先			危険債権			破産更生債権等		
	件数	金額	14/3末比	件数	金額	14/3末比	件数	金額	14/3末比	件数	金額	14/3末比
総計	—	19,979	△ 2,801	—	10,732	2,043	—	5,137	△ 2,871	—	1,489	△ 2
500億円以上	6	6,207	△ 822	5	4,236	1,695	—	—	△ 1,103	—	—	—
うち関連会社	3	3,845	△ 282	—	—	—	—	—	—	—	—	—
うち一般先	3	2,362	△ 539	5	4,236	1,695	—	—	△ 1,103	—	—	—
(1社平均)	—	787	61	—	847	0	—	—	△ 1,103	—	—	—
300～500未満	4	1,548	△ 60	1	321	△ 770	4	1,432	△ 1,313	—	—	—
うち関連会社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
うち一般先	4	1,548	△ 60	1	321	△ 770	4	1,432	△ 1,313	—	—	—
(1社平均)	—	387	△ 15	—	321	△ 42	—	358	△ 37	—	—	—
100～300未満	8	1,441	△ 514	3	575	△ 115	3	609	△ 133	3	364	164
うち関連会社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
うち一般先	8	1,441	△ 514	3	575	△ 115	3	609	△ 133	3	364	164
(1社平均)	—	180	17	—	191	19	—	203	17	—	121	△ 78
50～100未満	25	1,824	141	12	815	△ 11	2	131	△ 127	2	149	△ 329
うち関連会社	—	—	△ 68	—	—	—	—	—	—	—	—	—
うち一般先	25	1,824	209	12	815	△ 11	2	131	△ 127	2	149	△ 329
(1社平均)	—	72	△ 0	—	67	△ 0	—	65	1	—	74	△ 1
50億円以上計(構成比)	55.1%	11,022	△ 1,256	55.4%	5,949	797	42.3%	2,173	△ 2,677	34.4%	513	161
うち関連会社等	19.2%	3,845	△ 350	—	—	—	—	—	—	—	—	—
50億円未満	44.8%	8,957	△ 1,545	44.5%	4,783	1,245	57.6%	2,964	△ 194	65.5%	976	△ 163

※14年9月末

# 大口要管理先の保全状況（大和銀行、あさひ銀行）

【大口要管理先の保全状況】

（単位：億円）

	先数	与信額	うち未保全
要管理先(与信額100億円超先)	18	9,399	6,782
うち大和銀行	9	4,793	2,906
除く関係会社、緊密者	6	2,195	1,624
うちあさひ銀行	9	5,130	3,876
除く関係会社、緊密者	7	3,872	2,919

【引当状況(14年9月期)】

（単位：億円）

	大和(銀行勘定)					あさひ				
	債権額	引当金	担保保証	引当率 (債権全体)	引当率 (非保全部分)	債権額	引当金	担保保証	引当率 (債権全体)	引当率 (非保全部分)
正常先	64,950	131	***	0.20%	***	132,171	67	***	0.05%	***
要注意先	23,061	1,385	***	6.01%	***	30,712	1,709	***	5.56%	***
その他	14,308	312	***	2.18%	***	19,979	466	***	2.33%	***
要管理先 (要管理)	8,752 5,201	1,073 1,073	3,154 1,874	12.27% 20.65%	19.18% 32.28%	10,732 6,798	1,243 1,243	3,795 2,404	11.58% 18.28%	17.92% 28.29%
破綻懸念先	6,016	1,636	3,490	27.19%	64.77%	5,137	2,076	1,932	40.41%	64.78%
経営破綻先	1,877	315	1,562	16.80%	100.00%	1,489	90	1,399	6.05%	100.00%
計	95,905	3,468	8,206	3.61%	35.84%	169,510	3,942	7,127	2.32%	33.32%

# 債務者区分間の移動（大和銀行）

- 【前提】
- ・14年3月末に各債務者区分に属していた債務者が、14年9月末にどの債務者区分に属しているかを調査（ローン先、保証協会のみ先を含む）
  - ・与信額は14年3月末時点とし、14年度上期中の追加与信・部分回収・償却等は反映せず
  - ・14年9月末の「その他」は、全額回収、返済、最終処理（売却等）などによりバランスシートから切り離されたものなど

債務者区分間の遷移（債務者数ベース、14年上期）

14/3期末	14/9期末							ランクアップ <sup>o</sup>	ランクダウン
	正常	要注意	要管理	破綻懸念	実質破綻	破綻	その他		
正常	87.6%	4.3%	0.2%	0.4%	0.2%	0.3%	7.1%	—	5.3%
要注意	6.3%	81.1%	1.4%	3.9%	1.5%	1.0%	4.9%	6.3%	7.7%
要管理	1.7%	1.7%	84.9%	5.0%	0.9%	1.8%	3.9%	3.4%	7.7%
破綻懸念	0.7%	4.8%	0.7%	76.7%	8.7%	1.8%	6.7%	6.1%	10.5%
実質破綻	0.6%	3.3%	0.2%	2.5%	61.2%	2.7%	29.4%	6.6%	2.7%
破綻	0.2%	0.3%	0.0%	0.2%	0.2%	43.2%	56.0%	0.8%	—

債務者区分間の遷移（与信額ベース、14年上期）

14/3期末	14/9期末							ランクアップ <sup>o</sup>	ランクダウン
	正常	要注意	要管理	破綻懸念	実質破綻	破綻	その他		
正常	93.8%	3.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	2.6%	—	3.6%
要注意	6.3%	86.6%	4.0%	0.9%	0.4%	0.4%	1.4%	6.3%	5.8%
要管理	0.5%	5.6%	88.3%	2.9%	0.5%	1.6%	0.7%	6.1%	4.9%
破綻懸念	0.0%	1.1%	1.6%	84.5%	8.2%	3.5%	1.0%	2.8%	11.7%
実質破綻	0.1%	0.3%	0.1%	0.6%	89.6%	3.0%	6.3%	1.1%	3.0%
破綻	2.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	86.5%	10.7%	2.7%	—

# 債務者区分間の移動（あさひ銀行）

- 【前提】
- ・14年3月末に各債務者区分に属していた債務者が、14年9月末にどの債務者区分に属しているかを調査（ローン先、保証協会のみの先を含む）
  - ・与信額は14年3月末時点とし、14年度上期中の追加与信・部分回収・償却等は反映せず
  - ・14年9月末の「その他」は、全額回収、返済、最終処理（売却等）などによりバランスシートから切り離されたものなど

債務者区分間の遷移（債務者数ベース、14年上期）

14/3期末	14/9期末							ランクアップ	ランクダウン
	正常	要注意	要管理	破綻懸念	実質破綻	破綻	その他		
正常	99.5%	0.1%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	0.5%
要注意	5.6%	79.3%	11.2%	2.3%	0.6%	1.0%	0.0%	5.6%	15.1%
要管理	0.6%	3.4%	88.9%	5.2%	1.1%	0.8%	0.0%	4.0%	7.1%
破綻懸念	0.2%	1.5%	3.7%	79.3%	12.4%	2.9%	0.0%	5.4%	15.3%
実質破綻	0.0%	0.1%	0.3%	0.9%	95.0%	3.7%	0.0%	1.4%	3.7%
破綻	0.0%	0.0%	0.8%	0.4%	0.6%	98.3%	0.0%	1.7%	—

債務者区分間の遷移（与信額ベース、14年上期）

14/3期末	14/9期末							ランクアップ	ランクダウン
	正常	要注意	要管理	破綻懸念	実質破綻	破綻	その他		
正常	98.2%	1.4%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	1.8%
要注意	10.2%	81.7%	6.9%	0.7%	0.1%	0.4%	0.0%	10.2%	8.1%
要管理	0.2%	5.7%	91.0%	2.7%	0.2%	0.2%	0.0%	5.9%	3.1%
破綻懸念	0.0%	1.7%	9.6%	71.7%	8.9%	8.1%	0.0%	11.3%	17.0%
実質破綻	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	98.5%	1.3%	0.0%	0.2%	1.3%
破綻	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.1%	98.9%	0.0%	1.1%	—

# 債務者区分間の移動（近畿大阪銀行）

- 【前提】
- ・14年3月末に各債務者区分に属していた債務者が、14年9月末にどの債務者区分に属しているかを調査（ローン先、保証協会のみの先を含む）
  - ・与信額は14年3月末時点とし、14年度上期中の追加与信・部分回収・償却等は反映せず
  - ・14年9月末の「その他」は、全額回収、返済、最終処理（売却等）などによりバランスシートから切り離されたものなど

債務者区分間の遷移（債務者数ベース、14年上期）

14/3期末	14/9期末							ランクアップ <sup>o</sup>	ランクダウン
	正常	要注意	要管理	破綻懸念	実質破綻	破綻	その他		
正常	96.0%	0.7%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	—	0.8%
要注意	4.8%	80.1%	6.3%	2.4%	1.0%	1.1%	4.2%	4.8%	10.8%
要管理	0.4%	45.8%	32.7%	11.9%	4.2%	1.6%	3.3%	46.2%	17.8%
破綻懸念	0.0%	0.0%	1.0%	65.9%	26.5%	3.0%	3.6%	1.0%	29.5%
実質破綻	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	78.6%	5.6%	14.7%	1.1%	5.6%
破綻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	72.9%	26.3%	0.8%	—

## ※要因分析

・大口先は大手行並の厳格な自己査定を実施

【要注意→要管理】

【要管理→破綻懸念】

要管理債権を幅広く選定するなど、厳格な自己査定を実施

・中小、零細企業はその実態に則した査定を実施

【要管理→要注意】

金融検査マニュアル別冊（中小企業編）に基づき中小企業の実態に則した査定を実施した

債務者区分間の遷移（与信額ベース、14年上期）

14/3期末	14/9期末							ランクアップ <sup>o</sup>	ランクダウン
	正常	要注意	要管理	破綻懸念	実質破綻	破綻	その他		
正常	87.6%	4.2%	0.4%	0.0%	0.1%	0.3%	7.4%	—	5.0%
要注意	0.6%	51.3%	45.1%	1.5%	0.1%	0.8%	0.6%	0.6%	47.4%
要管理	0.1%	13.5%	62.7%	20.1%	1.5%	1.3%	0.8%	13.5%	22.9%
破綻懸念	0.0%	0.0%	0.2%	78.3%	16.4%	4.6%	0.5%	0.2%	21.0%
実質破綻	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	91.6%	3.8%	4.2%	0.4%	3.8%
破綻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	94.0%	5.9%	0.1%	—

# オフバランス化の状況（傘下銀行合算）

【破綻懸念先以下(金融再生法基準)の債権残高】(4行合算、元本補てん契約のある信託勘定含む)

(単位: 億円)

	平成12年度 上期末	平成12年度 下期末	平成13年度 上期末	平成13年度 下期末	平成14年度上期 オフバランスの実績	平成14年度 上期末	進捗率 (%)
平成12年度上期以前発生分	15,549	10,967	8,687	6,101	△ 821	5,280	66.04%
破産更生債権	4,196	3,730	2,929	2,383	△ 389	1,993	—
危険債権	11,353	7,237	5,758	3,717	△ 431	3,286	—
平成12年度下期発生分		4,597	3,721	3,115	△ 1,386	1,728	62.41%
破産更生債権		579	341	380	129	510	—
危険債権		4,018	3,379	2,735	△ 1,516	1,218	—
平成13年度上期発生分			2,027	1,206	△ 294	912	55.01%
破産更生債権			542	380	△ 62	318	—
危険債権			1,484	825	△ 232	593	—
平成13年度下期発生分				9,983	△ 2,877	7,106	28.82%
破産更生債権				1,280	△ 245	1,035	—
危険債権				8,703	△ 2,632	6,071	—
平成14年度上期発生分						1,873	—
破産更生債権						467	—
危険債権						1,405	—
合計	15,549	15,565	14,436	20,407	△ 5,379	16,901	—

(注)14年度上期末残には、オフバランス化につながる措置を講じたもの2,780億円を含む

・グループ合算で、平成14年上期中に5,379億円のオフバランス化を実施したが、新規に1,873億円が発生し、14年9月末の残高は、前期末比約3,500億円減少の1兆6,901億円

平成14年上期オフバランス化の実績 (単位: 億円)

清算型処理	65
再建型処理	1,146
再建型処理に伴う業況改善	1,257
債権流動化	1,747
直接償却	△ 579
その他	1,742
合計	5,379

# 消費者ローン、中小企業等貸出（傘下銀行合算）

【消費者ローン残高】

（単位：億円）

	4行合算		大和	近畿大阪	奈良	あさひ
		14年3月比				
住宅ローン残高	82,511	△5,722	17,409	8,289	239	56,572
流動化前	89,514	△1,094	18,165	8,289	239	62,819
その他ローン残高	6,413	△220	2,029	2,117	30	2,236
消費者ローン残高合計	88,924	△5,942	19,438	10,406	269	58,809
住宅ローン流動化前	95,927	△1,314	20,194	10,406	269	65,056
貸出金に占める割合(%)	30.92	△0.29	20.32	35.21	20.96	36.51

【中小企業等向け貸出額・比率】

（単位：億円）

	4行合算		大和	近畿大阪	奈良	あさひ
		14年3月比				
中小企業等向け貸出額	223,909	△13,813	70,130	27,315	1,162	125,301
中小企業等向比率(%)	77.85	△0.37	73.31	92.41	90.25	77.78

# 業績見込み（当社 連・単）

## 【単体】

	14年度	13年度
営業収益	140	21
経常利益	12	3
当期純利益	55	199

(単位:億円)

年度比
119
9
△144

## 【連結】

	14年度	13年度
経常収益	13,000	13,613
経常利益	120	△11,601
当期純利益	30	△9,318

(単位:億円)

年度比
△613
11,721
9,348

## 【業務純益(一般貸倒引当金繰入前):5行合算】

	14年度	13年度
業務純益	3,128	3,268

(単位:億円)

年度比
△140

## 【連結自己資本比率】

(単位:億円)

	15年3月 (見込)	14年9月 (速報)	14年3月 (実績)
自己資本比率	7.71%	7.92%	8.76%
Tier I 比率	3.95%	3.98%	4.40%
自己資本額	21,193	21,614	25,243
Tier I (優先出資)	10,864	10,872	12,686
(評価差額)	(1,385)	(1,385)	(706)
	(▲3,381)	(▲3,381)	(▲727)
Tier II	10,459	10,872	12,686
控除項目	130	129	129
リスクアセット	275,000	272,820	288,302
(半期増減)	2,180	▲15,482	***

## 【単体】

- ・営業収益140億円、経常利益12億円、当期純利益55億円
- ・りそな信託銀行の営業基盤強化を目的とした信託銀行株式の追加売却による特別利益67億円を織り込む。

## 【連結】

- ・不良債権問題に目処をつけるため、年間で1兆円を超えるオフバランス化を実施

## 【自己資本比率】

- ・平成15年3月末の連結自己資本比率は、中小企業貸出の増加を主中心として、リスクアセットの増加(約2,000億円)を予定しており、7.7%程度を見込む。
- ・当社グループはいずれも国内基準行であり、規制上必要とされる自己資本比率(4%)は十分に確保できる見込み。

# 業績見込み（傘下銀行単体）

傘下銀行の平成14年度の決算見込(単体)

(単位:億円)

	5行合算	大和	近畿大阪	奈良	あさひ	りそな信託
業務粗利益	7,843	2,460	947	43	4,130	262
経費	4,715	1,540	640	34	2,400	100
実勢業務純益	3,128	920	307	9	1,730	161
株式関係損益	△195	△170	△23	△2	-	-
不良債権処理額	3,054	1,100	653	1	1,300	-
経常利益	53	△240	△188	5	320	156
特別損益	△48	50	△1	2	△100	-
当期純損益	△69	△200	△190	4	220	96

(注1)不良債権処理額には、信託勘定不良債権処理額および一般貸倒引当金繰入額を含む

(注2)大和銀行の株式関係損益には投資損失引当金繰入額を含む

# 不良債権のオフバランス化計画（14年下期）

## グループで1兆2,000億円のオフバランス化

（14年度中増加見込分2,500億円考慮後の対象債権は約1兆円の減少）

## 破綻懸念先以下の残高を前期末比約50%削減

オフバランス化の計画（大和、あさひ合算）

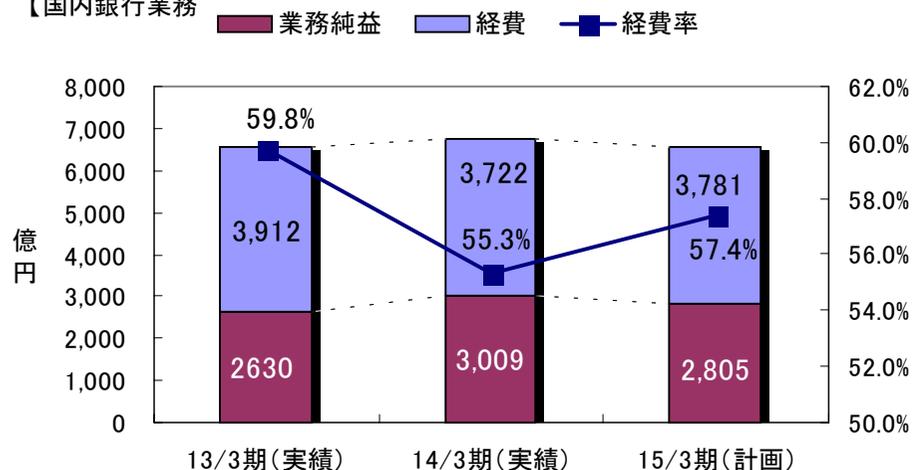
（単位：億円）

	15年3月期計画			14年9月期			14年3月期		
	計	大和	あさひ	計	大和	あさひ	計	大和	あさひ
対象債権：(A)	8,700	4,000	4,700	14,659	8,032	6,627	18,459	8,958	9,501
（年間増減）	△ 9,759	△ 4,958	△ 4,801	***	***	***	***	***	***
（半期増減）	△ 5,959	△ 4,032	△ 1,927	△ 3,799	△ 925	△ 2,874	***	***	***
破産更生	2,400	1,000	1,400	3,426	1,937	1,489	3,541	2,050	1,491
危険	6,300	3,000	3,300	11,231	6,094	5,137	14,916	6,907	8,009
要管理	12,300	5,300	7,000	12,159	5,361	6,798	11,199	5,963	5,236
開示債権：計(C)	21,000	9,300	11,700	26,816	13,394	13,425	29,656	14,922	14,737
（年間増減）	△ 8,659	△ 5,622	△ 3,037	***	***	***	***	***	***
（半期増減）	△ 5,819	△ 4,094	△ 1,725	△ 2,838	△ 1,527	△ 1,311	***	***	***
与信残高：(B)	283,000	102,000	181,000	275,117	101,639	173,478	292,692	107,641	185,051
（A）／（B）	3.07%	3.92%	2.60%	5.33%	7.90%	3.82%	6.31%	8.32%	5.13%
（C）／（B）	7.42%	9.12%	6.46%	9.75%	13.18%	7.74%	10.13%	13.86%	7.96%

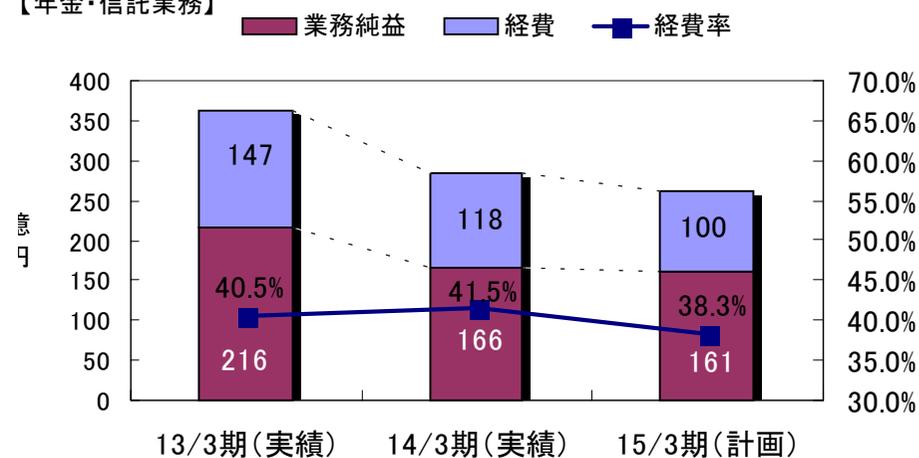
# (ご参考資料)

## 部門別収益及び経費率 (傘下銀行合算)

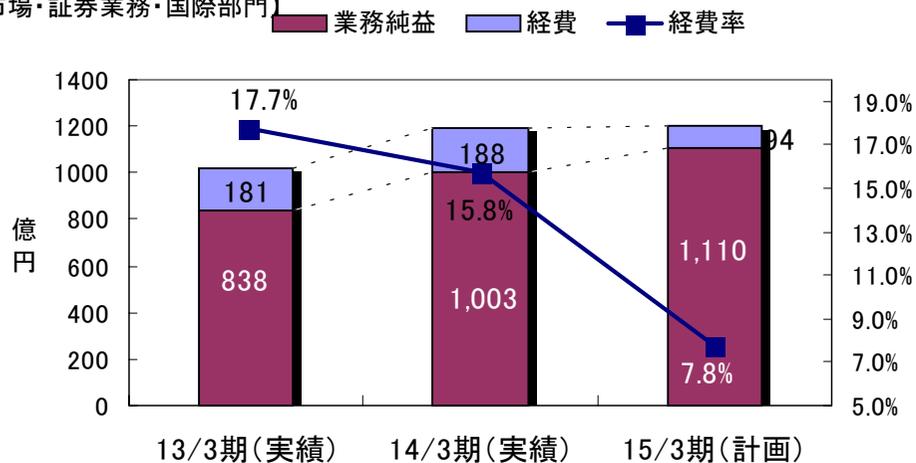
【国内銀行業務】



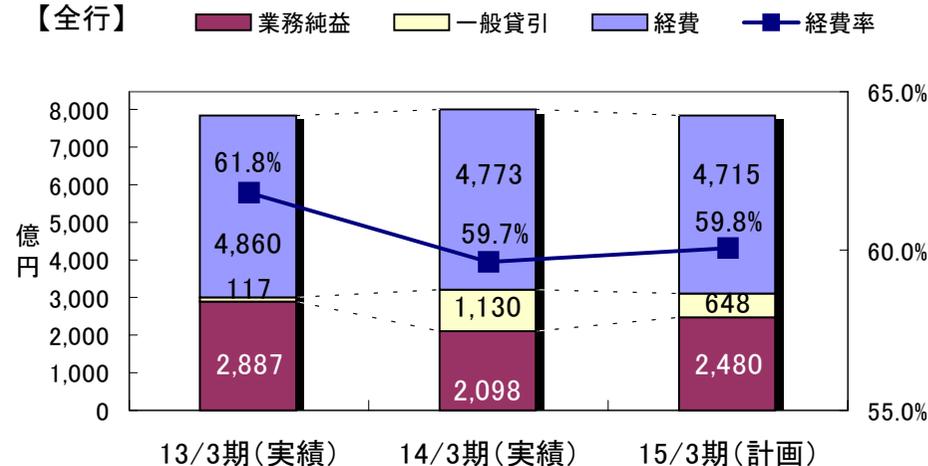
【年金・信託業務】



【市場・証券業務・国際部門】



【全行】



# (ご参考資料) 自己査定状況 (傘下銀行合算)

(単位: 億円)

分類債権 債務者区分		金融再生法の 開示債権	自己査定			
			非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先/ 実質破綻先 (4,325)		破産更生債権 およびこれらに 準ずる債権 4,325	1,124	3,200	引当率 100%	直接償却
破綻懸念先 (12,575)		危険債権 12,575	5,531	4,824	2,219 引当率 64.6%	
要 注 意 先	要管理先 (23,525)	要管理債権 14,583 小計 31,484	2,168	21,357		
	その他 要注意先 (38,167)	正常債権 276,041	8,793	29,373		
正常先 (228,932)			228,932			
合計 307,526		合計 307,526	非分類 246,550	Ⅱ分類 58,755	Ⅲ分類 2,219	Ⅳ分類 -

保全状況	金融再生法に 基づく保全率
引当金 488 担保/保証 3,837	破産更生債権 およびこれらに 準ずる債権 100%
引当金 4,089 担保/保証 6,266	危険債権 82.3%
引当金 2,722 担保/保証 7,045	要管理債権 66.9%

全体の保全率  
77.6%

# 主な連結子会社・関連会社の状況

(単位：億円)

会社名	主な業務	直近決算	総資産	借入金		資本		経常利益	当期利益	連結又は持分法の別	グループ戦略上の位置付け及び今後の方針 (経常損失、当期損失または繰越損失のある会社についてのみ記載)
				うち4行分	うち4行分	動定	出資分				
コスモ証券(株)	証券	H14/9月	885	53	35	304	204	10	33	連結	証券業務を担う子会社。今後更なる経営効率化を推進し、収益力の強化を図る。
あさひ銀リテールファイナンス(株)	ファイナンス	H14/9月	1,773	1,591	1,591	174	201	0	0	連結	ファイナンス業務を担う子会社。不良債権の引当強化による一時的な赤字。通期については黒字を見込む。
大和ギャランティ(株)	信用保証 コンサルティング	H14/9月	201	0	0	7	148	5	5	連結	保証業務を担う子会社。ローン推進と増収施策等により早期黒字化を目指す。
あさひ銀保証(株)	信用保証	H14/9月	1,211	0	0	448	522	20	12	連結	保証業務を担う子会社。銀行と一体になったローン推進施策等の実施により期間損益の黒字計上を目指す。
あさひ銀ファイナンスサービス(株)	ファクタリング	H14/9月	1,405	662	662	107	101	1	1	連結	
大和モーゲージ(株)	抵当証券	H14/9月	333	553	562	228	0	5	5	連結	抵当証券業務を営む子会社。不良債権処理および資産圧縮に注力しグループ内で再編する方向で検討を進める。
共同抵当証券(株)	抵当証券	H14/9月	2,041	1,440	1,440	195	152	17	16	連結	
あさひカード(株)	クレジットカード	H14/9月	655	442	442	39	0	3	1	連結	
(株)大和銀カード	クレジットカード	H14/9月	627	488	300	28	0	5	2	連結	
あさひ銀リース(株)	総合リース	H14/9月	1,899	1,355	810	50	2	12	1	連結	
大和ファクター・リース(株)	総合リース ファクタリング	H14/9月	946	764	508	7	0	6	4	連結	リース・ファクタリングを行う子会社。不良債権処理および資産圧縮を進め、15年度以降の黒字定着を見込む。
大和銀企業投資(株)	ベンチャー キャピタル	H14/9月	89	75	59	8	4	0	5	連結	ベンチャーキャピタル業務を担う子会社。期間損益は引き続き黒字計上予定。
コスモエンタープライズ(株)	ベンチャー キャピタル	H14/9月	7	6	6	0	-	0	0	連結	ベンチャーキャピタル業務を行うコスモ証券の子会社。経営効率化を進め、期間損益の黒字計上を目指す。
あさひ銀事業投資(株)	ベンチャー キャピタル	H14/9月	189	113	101	59	21	6	2	連結	
近畿大阪リース(株)	総合リース業務	H14/9月	874	803	803	3	0	0	0	持分	
日本トラスティ情報システム(株)	情報処理サービス	H14/9月	339	329	128	3	0	0	0	持分	

(注1) 14/9月期連結決算において対象とされた主な子会社・関連会社について記載しております。但し、当グループ4行の与信額が1億円以下の場合、または総資産が100億円未満の場合は一部記載を省略しております。なお、海外の子会社・関連会社については記載を省略しております。

(注2) 借入金のうち、4行分は保証を含んでおります。

(注3) 連結決算に使用した個別財務諸表の決算日を記入しております。

(注4) 大和銀企業投資(株)とあさひ銀事業投資(株)は平成15年4月1日付けで合併する予定です。

---

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により、目標(計画)対比異なる可能性があることにご留意下さい。

---